

1. 評価報告概要表

評価確定日 平成21年4月6日

【評価実施概要】

事業所番号	2273200416		
法人名	株式会社スタッフ・アクタガワ		
事業所名	グループホーム若草の家 御門台		
所在地 (電話番号)	静岡県清水区七ツ新屋2丁目1-28		(電話) 0543-49-6880
評価機関名	静岡県社会福祉協議会		
所在地	静岡市葵区駿府町1-70		
訪問調査日	平成20年12月26日		

【情報提供票より】(20年12月10日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16 年 10 月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	14 人	常勤	10 人, 非常勤 4 人, 常勤換算 4.2人

(2) 建物概要

建物形態	<input checked="" type="checkbox"/> 併設	<input type="checkbox"/> 単独	<input checked="" type="checkbox"/> 新築	<input type="checkbox"/> 改築
建物構造	鉄骨 造り			
	2 階建ての		2 階 ~	階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	60,000 円	その他の経費(月額)	10,000 円
敷 金	有(円)	<input checked="" type="checkbox"/> 無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(45,600 円)	有りの場合 償却の有無	有(期間:1年)
食材料費	朝食	200 円	昼食 400 円
	夕食	400 円	おやつ 125 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要(12 月 10 日現在)

利用者人数	9 名	男性	5 名	女性	4 名	
要介護1	1 名	要介護2	3 名			
要介護3	2 名	要介護4	2 名			
要介護5	1 名	要支援2	名			
年齢	平均	81.2 歳	最低	67 歳	最高	98 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	土屋内科 ・ 大野歯科
---------	-------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは、JR草薙駅から車で5分程の住宅地にある。地域との関わりを重視し、地域住民との交流が活発に行われている。運営推進会議は2ヶ月に一度の開催が定着し、具体的な改善課題を諮る、意見をもらう場として機能を果たしている。管理者・職員の利用者に対する声かけや対応は、丁寧でゆったりとしていることが利用者に穏やかさをもたらしている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価で、入浴の支援が課題となっていたが、入浴回数を増やし、利用者の希望に応じた支援を行うなど改善している。災害対策についても、運営推進会議で議題として取り上げ、自治会や民生委員の協力を得て防災訓練を実施することができた。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>管理者は、評価の意義を理解している。職員代表が記入し、職員会議で話し合い、管理者がまとめた。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>2ヶ月に一度、運営推進会議を実施し、活動や状況の報告を行っている。イベントや、外出時の問題点等を、議題として取り上げ、対応方法について検討するなど、サービスの向上に活かしている。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族とのやりとりを頻繁に行い、相談・苦情等は、決められた書式で記録を行い、きちんと対応が行われている。運営推進会議や家族会では、発言を促したり、意見や要望を出しやすい雰囲気作りを心がけている。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域との関係を重視している。積極的にホームを開放することで、地域の情報も入り、地域の夏まつりに参加したり、ホームの行事に地域住民が参加するなど、活発な交流が行われている。今後更なる連携へとつなげていくことが期待できる。</p>

2. 評価報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	系列事業所の共通した理念として「共に暮らし、共に生きる」「寄り添う」「助け合う」「喜び合う」を掲げている。	○	地域とのつながりが顕著であり、追加して独自の理念を作り上げることで、よりホームに対する理解が深まることが期待できる。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者・職員は、常に理念を具体化していくことに意識して取り組んでおり、利用者が、これまでの暮らしぶりを継続できるよう実践に活かしている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	ふれあい祭りの案内や、子供神輿の休憩所としての場の提供、地域の夏まつりへの参加など交流の機会が多い。食材も近隣で求め配達してもらったり、差し入れもある。日頃から、地域活動の情報を集め、接点をもつ工夫をしている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者は、評価の意義を理解している。職員会議で話し合い、管理者がまとめた。	○	職員一人ひとりが自己評価に取り組むことで、自分たちのケアを振り返ったり、新たな気づきや共通理解につなげることができるので、取り組みを検討されたい。
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一度、自治会長、氏子代表、民生委員、地域包括支援センター職員、家族、職員の参加により開催している。活動や課題等を報告し、地域からの情報や意見を取り入れ、サービス向上に活かしている。行政の参加を働きかけている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>申請や報告等の場を活用し、区担当者から、研修や地域の情報を得たり、イベントの案内、小中高生の福祉体験の依頼等を行う機会を持っている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>利用者の健康状態や暮らしぶりを掲載した「若草の家通信」を月一回発行し、家族の訪問時に金銭報告と一緒に手渡している。</p>		
8	15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進会議や家族会などは、発言しやすい雰囲気作りに配慮している。相談や苦情は、「お客様相談窓口責任者」を配置し、職員会議で検討し運営に反映させている。</p>		
9	18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>管理者は、異動による利用者へのダメージを理解しているが、グループ内での異動が多い。</p>	○	<p>ホームの特性、理念を踏まえて、馴染みの職員の異動は最小限に抑え、家族への報告にも配慮し、利用者への安心につなげられたい。</p>
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員は研修への参加、必要性を認識し、自らのレベルを上げたいと考えている。内部研修は、計画的に実施している。外部研修には、あまり参加できていないが、職員が平等に参加できるよう勤務体制に配慮している。</p>		
11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>管理者は、同業者との情報交換の大切さを自覚している。系列のグループホームと連携をとり、音楽療法を導入するなど、質の向上に努めている。</p>	○	<p>系列グループホーム外の同業者との交流にも取り組まれたい。</p>

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	申込みから利用開始に至るまで、本人・家族に解りやすく説明することを心がけている。一週間の「おためし体験」を通し、馴染みながら本格利用に移っていきけるよう支援している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日常生活の中で、野菜を育てたり、掃除、洗濯物の片づけ、調理や下ごしらえ、食器拭きなど、利用者の主体性に応じて、得意分野やできることを見守り、支援している。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	言葉による思いの表現ができていない利用者からは、表情や動きから意向把握に努めるとともに、家族の来訪時に聞きとりを行っている。センター方式を取り入れるなど、職員全体で一人ひとりに合った支援ができるよう情報を共有化している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	アセスメントシートやケース記録をもとに、本人、家族、医師などの意見を聴き、スタッフ会議で話し合い策定している。センター方式の良い所を取り入れるなど工夫している。利用者・家族の同意を得ている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月に一度見直しを行い、必要な場合は随時対応している。計画書には達成状態が記入され、改めて利用者・家族に同意を得ている。	○	ファイルや書式は、誰が見ても解るよう工夫されたい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者・家族の状況に応じて、通院介助、理美容への送迎を行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回、協力医の往診があり、24時間体制で対応が可能になっている。家族の希望でかかりつけ医の通院介助を行い、話し合いや情報交換により関係を築いている。受診の方法や結果について利用者・家族と共有している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	24時間対応可能な協力医、併設施設の看護師も居り、管理者は、希望があれば受け入れていきたいと考えている。利用者・家族との具体的な話し合いは、まだ行っていない。	○	ホームとしての具体的な方針や、医療関係者との話し合い、本人・家族の考え方など、重度化や終末期に向けた対応について、全職員で話し合う機会を重ねられたい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員の言葉かけや対応は、プライバシーに配慮し、丁寧に行われている。記録物や「たより」の掲載など個人情報の取り扱いについても、徹底している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりの生活歴を把握することに努め、その人に合った暮らしを支援している。早朝や、夜遅い時間に活動する利用者にも、きちんと対応を行っていることが伺える。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節感のある物を食材として選び、近隣商店から配達してもらっている。食事準備や片付けは、できる人が職員と一緒にやっている。または、職員も同じテーブルを囲み、好みを観察しながら楽しく食事ができるよう配慮している。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の希望を聞きながら、一日置きに、週3回の入浴を行っている。毎日入浴したい利用者にも、対応できるように努めている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活歴や能力に応じて、家庭菜園の手入れ、調理の手伝いや指導、食器拭き、洗濯物をたたむ等、生活の中で役割を持ち、やりがいを持てるよう支援している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	車や車椅子を利用し、戸外へ出掛ける事を積極的に行っている。神社へのお参り、理美容、通院など一人ひとりの希望に添った支援にも取組んでいる。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は、玄関の鍵をかけずに自由に入出入りができる。徘徊がちな利用者には、常に職員が見守るようにしている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害対応マニュアルを備え、年2回防災訓練を行っている。2階から、非常階段を使って車椅子利用者を避難させる訓練も実施した。地域から自治会長、民生委員の参加協力があり、運営推進会議で課題が挙げられ、協議することができた。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	おやつや補食も含めて食事量を把握している。季節感のあるメニューを心がけ、カロリー計算も行っている。昼・夕食の調理は、専属の職員が行い、水分摂取量の管理が必要な利用者には、相応の支援をしている。	○	食事の汁物や、おやつの時のお茶など水分を提供した時には、利用者が飲んでいるのかどうかをチェックし、意識しながら関わることを期待する。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居住空間は2階にあり、食堂、居間、畳敷きコーナーは窓が大きく、明るく見晴らしも良い。ソファや座椅子を配置し、ゆったりとくつろげる空間となっている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の好みに合わせ、箆笥や備品、小物など自由に持込み、快適に過ごせるよう工夫している。洋室を和室風にし、畳みを入れて布団を用いるなど、本人の代わりに配慮し、柔軟に対応している。		